

【 内 容 】

本研修は、県内工芸陶磁器業界の後継者の確保及び技術水準の向上を図る目的で実施しています。今年度より、笠間焼業界からの要望を反映したかたちで、カリキュラムの改編を行いスタートしました。

H22年度 研修コースについて

	期 間	内 容
成形基礎コース（5名程度）	2年制	ろくろ成形を中心とした基礎技術の研修
成形実践コース（5名程度）	1年制	商品企画、開発を中心に学ぶ研修
釉薬基礎コース（4名程度）	3ヵ月制	釉薬原料・ゼーゲル計算等の釉薬基礎を学ぶ研修
釉薬実践コース（4名程度）	9ヵ月制	釉薬開発手法を学ぶ研修

今年度は、11名が修了予定です。現在まで累計757名が修了しています。笠間市周辺で工芸陶磁器業を営む人たちの約6割が研修修了者で、地場産業の後継者育成に大いに貢献しています。第50回伝統工芸展・陶芸部門入選118点のうち18点（15.3%）が、研修修了者です。



成形基礎コース「ろくろの基本」



成形基礎コース「湯呑み成形」



成形基礎コース「陶磁器概論」



成形基礎コース「陶磁器概論」



成形基礎コース「手ひねり実習」



成形実践コース「修了制作」



成形実践コース「ガス炉焼成実習」



釉薬基礎コース「色釉の基礎実験」



「薪窯焼成実習」